

【吉野歴史資料館で行った事業】

歴史講演会・上野城の吉野万葉塾
令和元年度は開催していません。

現地学習会

・文藝若手会の観劇

日にもち・令和元年六月一・三日(土)

行先・国立文楽劇場 定員・二〇名

資料館で開催した展示など

发掘古代の宮遺跡

日にもち・令和元年七月二〇日(土)・九月一六日(日)

備奈良県立橿原考古学研究所附属施設

博物館出張企画展として開催

・まんかひなたろう!吉野の記録・万葉と歴史

・日にもち・令和二年三月一日(木)・一月末日

職場体験実習展(ミニ展示)

日にもち・令和元年一月九日

・令和二年六月末日(予定)

連携講座

・(web)県立橿原考古学研究所附属施設

・吉野宮のありかを求めて「天皇と吉野宮」

講師・西本昌弘氏(関西大学・当町職員)

日にもち・令和元年七月二二日(日)

場所・橿原考古学研究所附属講堂

・調査報告会・遺跡解説

日にもち・令和元年八月三二日(日)

場所・宮遺跡現地ほか

【WBT近鉄文化サロン・阿倍野】

・樹木本考その伝承と意味を探る
講師・當町職員
日にもち・令和二年二月一六日(日)

場所・三重県立能野古道センター

【WBT近鉄文化サロン・阿倍野】

・吉野が招きされました※主なもの

・神木本考その伝承と意味を探る
講師・當町職員
日にもち・平成三年四月六日(土)

・宮方・南朝(はなぜ吉野を選んだのか?)
講師・山中岳彦氏(吉野山保勝会樹木医)

・天野孝之氏(吉野山の桜)

・(BS)「ジン・デ・スペシャル」(二月)

・宮方・南朝(はなぜ吉野を選んだのか?)
講師・山中岳彦氏(吉野山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(二月号)

・吉野の吉野と「万葉集」
講師・井上さやか氏(吉野文化館)

・(月刊)「月刊奈良」(九月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十月号)

・宮遺跡と吉野宮
講師・前田知雄(奈良芸術短期大学)

・(月刊)「月刊奈良」(十一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十二月号)

・宮遺跡と吉野宮
講師・前田知雄(奈良芸術短期大学)

・(月刊)「月刊奈良」(一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(三月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(四月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(五月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(六月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(七月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(八月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(九月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

今年度の吉野町の文化財事業

・吉野万葉塾修用事業・宮遺跡整備事業
・本善寺歴史資料科叢書検査事業
・西谷自治会所有文書調査事業

・大宰輿道の災害復旧工事

吉野が招きされました※主なもの

・神木本考その伝承と意味を探る
講師・當町職員
日にもち・平成三年四月六日(土)

・宮方・南朝(はなぜ吉野を選んだのか?)
講師・山中岳彦氏(吉野山保勝会樹木医)

・天野孝之氏(吉野山の桜)

・(BS)「ジン・デ・スペシャル」(二月)

・宮方・南朝(はなぜ吉野を選んだのか?)
講師・山中岳彦氏(吉野山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(二月号)

・吉野の吉野と「万葉集」
講師・井上さやか氏(吉野文化館)

・(月刊)「月刊奈良」(九月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十月号)

・宮遺跡と吉野宮
講師・前田知雄(奈良芸術短期大学)

・(月刊)「月刊奈良」(十一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(三月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(四月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(五月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(六月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(七月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(八月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(九月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(十二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(一月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(二月号)

・吉野が語る小楠公の生涯と吉野炎上
講師・田中岳良師(芳山(佛寺))

・(月刊)「月刊奈良」(三月号)

柳・田尻区 金照神社参道発見の石器

桜井市郷土研究センター 統括研究員

橋本 輝彦

金照神社は柳・田尻集落の南、標高三二六mの金着山の頂に鎮座する神社で、御祭神は金山毘古命です。創建時期は詳らかではありませんが、かつて金精明神と呼ばれた吉野山の金峯神社より区内の小畠山へ分靈、勧請されたもので、一度峯ノ境内に転祭された後、江戸時代の終わりから明治時代の初めの間に現在の場所に遷座され、今も大切にお祀りされています。

令和元年十月十三日、金照神社で秋まつりがあり私もお祭りに参加しました。

神社は集落よりも六〇mほど高い山上にあり、村人は急な山道に息を切らしながらお参りをしています。この日も子どもたちの神社へと向かう山道を登り、山頂近くの鳥居をくぐつたところで一休み。ふと地面に目をやると、



ち帰り、綺麗に洗ってみると弥生時代の石ヤリのカケラだと思っていた石器が、実はとても古そうなナイフ形の石器だという事がわかつてきました。

早速、奈良県教育委員会におられる石器研究のエキスパート、光石鷗巳さんに連絡を取り、鑑定のお願いをしたところ、すぐに実物を見にこられ、石器についての所見を色々と教えてくださいました。光石さんはによると、石器はスタイルバー（削器や擂器と呼ばれる皮をなめしたり、木を削ったり、獸の肉を切ったり

する目的的な刃物）と考えられる事、石器の形や風化の程度からは縄文時代の早期（約一〇〇〇〇～七〇〇〇年前）まで遡る可能性がある大変古い石器ではないかとのことでした。

現在のところ、吉野町域で縄文時代早期に遡る遺物は宮滝遺跡で縄文時代早期の押形文土器が発見されているだけですが、今回発見した石器はこれと同じ時代で、石器としては町内でも最古の人類の痕跡を示すものです。

石器は長さ八、三四、厚さ一、二四、重さ四二、九gと手のひらに収まる大きさで、一部には参道を整備する時に鍛などで付けられた新しいキズも見られます。が、刃の部分は使い込まれた様子も無く、現在も切れ味が健在です。このことから今回発見した石器は、使い古された石器が捨てられたのでは無く、柳の山中で獲物を追つて移動したハンターの落とした物だと考えています。

※金照神社の御由緒は田尻区の加藤肇さんによろづ御教示をいただきました。記して感謝致します。



写真1 人のいるところが発見場所



写真2 石器の写真

赤土の地面に周囲では見かけない石が貼りついているのが目に入りました。

「ん？ サヌカイトに似た石だなあ。」と思つて手に取るとまさしくサヌカイト！

「弥生時代の石ヤリのカケラかなあ？」よく見ると刃物にするために加工した痕跡もきちんと残っています。

サヌカイトとは、昔の人たちが矢じりやナイフなどの石器を作るときに使った石材の名前で、奈良県では香芝市の二上山の麓でしか採れないものです。町内で

は宮滝遺跡や丹治遺跡などの吉野川沿いの遺跡で矢じりなどのサヌカイト製の石器が数多く見つかっていますが、中龍門地区できちんとした石器の発見は初めてとなるものです。その初めての発見が平地では無く、「どうして集落の跡も無いこんな山の上なんだろう？」と不思議に思いながら家に持



写真1 金照神社と石器の発見地点

